

Heatstroke STUDY 2021 入力の手引き

2021年6月吉日

日本救急医学会 熱中症及び低体温症に関する委員会
帝京大学医学部救急医学講座
神田 潤

Heatstroke STUDY 2021 へご協力いただきどうもありがとうございます。

これまでの Heatstroke STUDY で欠落値が多かったり、お問い合わせを多くいただいたりする項目を修正しました。「手引き」としてまとめましたので、ご参照ください。

inclusion criteria

「熱中症と判断して、熱中症の初期診療を行った（後で、他の原因疾患を合併していても、レジストリから除外しない）」にチェックしてください。チェックした後にデータ入力が可能になります。

日本救急医学会ガイドライン 2015 の定義では、「暑熱環境に暴露された後で、熱中症の臨床症状（めまい、失神（立ちくらみ）、生あくび、大量の発汗、強い口渇感、筋肉痛、筋肉の硬直（こむら返り）、頭痛、嘔吐、倦怠感、虚脱感、意識障害、痙攣、せん妄、小脳失調、高体温等の諸症状）を呈したの中から、感染症や悪性症候群による中枢性高体温、甲状腺クリーゼ等、他の原因疾患を除外したもの」としていますが、Heatstroke STUDY 2021 では熱中症の初期診療を受けたものであれば、熱中症と他の原因疾患を合併していると考えられるものもレジストリのデータ収集の対象とします。即ち、入院後に敗血症や COVID-19 など他の原因疾患を合併していても、レジストリから除外しないでください。

現場情報

発生状況については、病院前の内容であり、救急隊からの情報提供によるものが多くなります。つきましては、別紙の如く情報収集用紙「熱中症と疑われる患者さんの発生状況について」を作成しましたので、適宜修正の上、救急隊からの情報収集にご利用ください。

深部体温

例年、深部体温の欠損値が多くなっています。直腸温、膀胱温、食道温、鼓膜温、血管内脳温などの測定をお願いします。

冷却方法

例年の体内冷却、体外冷却、併用冷却の分類を回答いただいておりますが、本年度は Active Cooling の有無を回答してください（分類は事務局で行います）。

熱中症と疑われる患者さんの発生状況について

日本救急医学会 熱中症及び低体温症に関する委員会

発生場所（屋外もしくは屋内）に応じて、下記の項目の該当欄にチェックしてください。

発生場所が屋外の場合

- 発生状況 肉体労働 事務作業 スポーツ 日常生活
直射日光 日向にいた 日陰にいた 不明
マスクについて マスク着用 マスクを着用していない
マスクの詳細 ウレタンマスク 布マスク 不織布マスク N95 マスク その他
上半身の服装（形態） 半袖 長袖 不明
上半身の服装（色） 黒系 白系 判断困難 不明
下半身の服装（形態） 半ズボン・スカート 長ズボン 不明
下半身の服装（色） 黒系 白系 判断困難 不明
帽子・日傘 帽子 日傘 なし 不明

発生場所が屋内の場合

- 窓の開閉 開放あり 開放なし 不明
扇風機 あり（作動あり） なし（作動なし・設置なし） 不明
クーラー つけていた つけていない 不明
発生状況 肉体労働 事務作業 スポーツ 日常生活
マスクについて マスク着用 マスクを着用していない
マスクの詳細 ウレタンマスク 布マスク 不織布マスク N95 マスク その他
上半身の服装（形態） 半袖 長袖 不明
上半身の服装（色） 黒系 白系 判断困難 不明
下半身の服装（形態） 半ズボン・スカート 長ズボン 不明
下半身の服装（色） 黒系 白系 判断困難 不明
帽子・日傘 帽子 日傘 なし 不明